

民間建設業関係者の皆様へ

社団法人 三重県建設資材試験センター
理事長 谷 川 恭 雄
公益財団法人 三重県建設技術センター
理事長 野 田 素 延
(公 印 省 略)

平成 2 3 年度建設技術研修 実務分野 (初・中級)
「橋梁の長寿命化対策」 の開催について (通知)

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当センターの業務について格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当センターの公益事業の一環として、国・県・市町及び公社等職員並びに民間建設関係者等の技術の向上を目的とした技術研修会を次のとおり開催しますので、ご多用の折とは存じますが、関係の皆様のお講を願ひ申し上げます。

記

1. 開催日時：平成23年10月26日(水) 10:30~16:00
2. 集 合 場 所： 国立大学法人名古屋大学工学部3号館321講義室
※詳細は別紙パンフレットを参照してください。
最寄駅：名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」下車 3番出入口徒歩3分
3. 研 修 会 場： 国立大学法人名古屋大学工学部3号館321講義室及びモデル橋梁「ニュー・ブリッジ」
愛知県名古屋市千種区不老町
4. 研 修 目 的： 橋梁保全技術者の育成及び技術力向上のため、構造物の維持管理システム、点検方法、補修補強工法に関する知識についてモデル橋梁を用い、橋梁点検技術の習得を図る。
5. 研 修 内 容： 研修次第(別紙1)のとおり
6. 講 師： 中日本高速道路株式会社
環境・技術部 専門主幹 宮内 秀敏
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社
技術開発部 上席調査役 田名瀬 寛之
7. 受講対象者： 国・県・市町職員、公社等職員及び民間建設関係者等(定員40名)
8. 受 講 料： 一人につき5,500円(テキスト代含む)
9. 申込締切日： 平成23年10月12日(水)
10. 申込み先及び振込み期限：
申込みは、研修参加申込書(様式1)を平成23年10月12日(水)までに下記へFAXしてください。
(公財)三重県建設技術センター 研修業務課宛て
FAX 059-229-5621
お振込みは、10月12日(水)までに下記の口座をお願いします。
なお、締切日以降にキャンセルされると、受講料の返金は致しませんのでご了承ください。

振込先：第三銀行津駅西支店 普通預金 No. 700489
公益財団法人 三重県建設技術センター

11. 共 催： (社) 三重県建設資材試験センター ・ (公財) 三重県建設技術センター
12. 後 援： 三重県県土整備部
13. そ の 他： (社) 土木施工管理技士会連合会の継続教育 (CPDS) の各認定プログラムとなります。(研修時間 5h)
- ・ この研修は、現地会場にて集合・解散とします。なお現地には、駐車場がございませんので、必ず公共交通機関をご利用ください。
 - ・ 実習を含みますので、ヘルメット等を準備のうえ、動きやすい服装にてご参加をお願いします。
 - ・ 研修会の受講票は発行しておりませんので、ご了承ください。

お問い合わせ先：公益財団法人 三重県建設技術センター
研修業務課 波多野・笠井
TEL 059-229-5624
FAX 059-229-5621
ホームページ： <http://www.mie-kengi.or.jp>

研修会次第

平成23年度建設技術研修 実務分野 初・中級

「橋梁の長寿命化対策」

開催日：平成23年10月26日（水）

共 催：（社）三重県建設資材試験センター
（公財）三重県建設技術センター

後 援：三重県県土整備部

場 所：座学：名古屋大学工学部3号館321講義室

実習：名古屋大学構内モデル橋梁 ニューブリッジ

—— 講 義 —— 10:30 ~ 12:00

演 題：「構造物の効率的な維持管理に向けて」

講 師：中日本高速道路株式会社

環境・技術部 専門主幹 宮内 秀敏

1. 構造物の維持管理システムの例（NEXCO）
NEXCO 中日本の管理する構造物の現状と維持管理体制、BMSなどのシステムの概要
2. 劣化機構とライフサイクルコスト
塩害等の劣化メカニズムの概要と事例、シナリオデザインとLCCの概要
3. 点検方法と効率化
点検における留意点、新技術を含む点検方法、点検の効率化
4. 補修補強工法
劣化機構別、損傷グレード別の補修、補強工法（新技術含む）の採用方法
5. 質疑応答

< 昼食休憩 12:00 ~ 13:00 >

—— 実 習 —— 13:00 ~ 16:00

講 師：中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

技術開発部 上席調査役 田名瀬 寛之

1. 「N2U-BRIDGE」の概要について
2. 損傷調書の書き方
国土交通省「橋梁定期点検要領」（平成16年3月）に基づき、「N2U-BRIDGE」の特定の部位に発生している劣化について、点検調書を作成し、対策区分の判定を行う。
3. ネクスコ中日本の点検技術について
高速道路で使用されている点検手法を説明
4. 質疑応答

名古屋大学・NEXCO中日本橋梁モデル

n²U-BRIDGE

(ニュー・ブリッジ)

NEXCO-Central and Nagoya University -

Bridge model with Restoration and Integrated Deterioration for Global Engineers



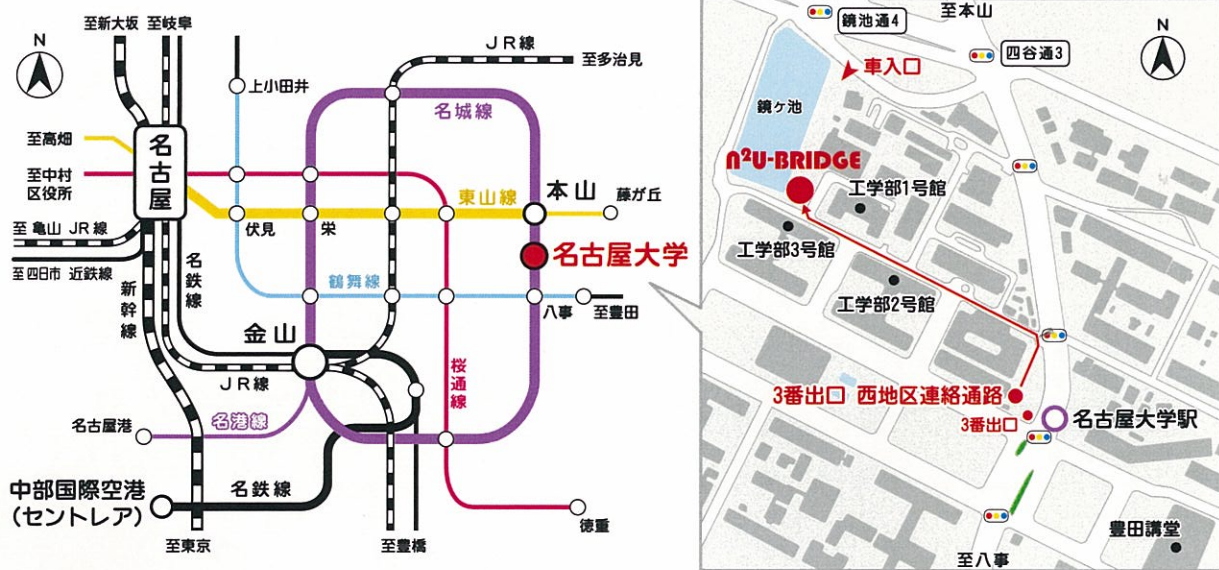
国立大学法人名古屋大学

中日本高速道路株式会社

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

(ニュー・ブリッジ)
n²U-BRIDGEへのアクセス

n²U-BRIDGE 案内図



- ・地下鉄名城線「名古屋大学駅」3番出口 西地区連絡通路 徒歩 2分(名古屋市千種区不老町 名古屋大学構内 工学部3号館北)
- ※「名古屋大学駅」へは
- 【名古屋駅より】地下鉄東山線(藤が丘方面行き)本山駅へ約15分 本山駅より地下鉄名城線(右回り)で約2分
- 【金山駅より】地下鉄名城線(左回り)で約21分
- 【中部国際空港より】名古屋鉄道空港線(名鉄名古屋方面)ミュージスカイで金山駅へ約25分
金山駅より地下鉄名城線(左回り)で約21分

お問い合わせ

名古屋大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻橋梁長寿命化推進室準備室

[事務局]

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 技術開発部

住所 名古屋市中区錦1-8-11 DNI 錦ビルディング 〒460-0003

TEL 052-212-4591 FAX 052-203-5106

～ 建通新聞 ～

(9月15日掲載紙面より抜粋)



名大などの橋梁点検技術研究施設

N²U-BRIDGE が完成

名古屋大学と中日本高速道路、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋の3者は、名古屋大学の東山キャンパス内に名古屋大学の学生や中日本高速道路グループの技術者、官公庁や民間企業の技術者らの橋梁点検技術の教育や研修、技術の継承を研究成果の検証などを目的とした橋梁技術の研さん・研究用施設「N²U-BRIDGE」(ニュー・ブリッジ)が完成し、13日に除幕式が行われた。同施設は、実際に使われていた鋼板桁橋、PC中空床版橋、RCT桁橋、西枇杷島歩道橋の一部をモデル橋梁として名古屋大学構内に再構築したもの。3者は10月から研修や教育のカリキュラムづくりに入り、2012年4月からの外部の研修受け入れに備える。